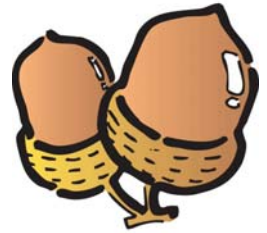


マルトミです



日頃のご愛顧に 心より御礼申し上げます。

お知らせ

☆ 除雪機各種展示中です。小型ではホンダのクロスオーガ・タイプ、中型はハイブリッド・タイプ、大型ディーゼルならヤマの2段オーガ・タイプ、その他に共立の雪を押し出すタイプの除雪機もご覧いただけます。



☆ 10月15・16日は当社恒例の秋の展示会です。

今回は、除雪機、農業機械、「おふろだもん」などの生活関連商品に加え、中古の農業機械・除雪機も多数ご用意して皆様のお越しをお待ちしております。ご来場プレゼントとして大輪の百合 パープルカサブランカの球根(先着300名様)や、豚汁・コーヒーのサービスもごさいますので、是非ご家族、御近所お誘い合わせてご来場ください。



☆ 9月13日、兵庫県三田市にある榊モリタの本社に行ってきました。会議の後で展示場に移動し、最新型の大型ハシゴ車や救助工作車などの消防用機械の実演説明を聞きながら、雄大な眺めを楽しんできました。もちろんちょっと勉強も、ですが。

マルトミカレンダー (10月 ~ 12月) 赤色は休業日

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31			
30	31																			

15, 16 展示会

12/30~1/4 正月休業

※10月は休まず営業、冬期間も降雪があり除雪機の稼働が予想される場合は休日でも営業致します。

除雪機の始動点検のおすすめ ～簡単にできる点検のポイント～

雪が降ったらすぐに快適な作業ができるよう、早めの点検をおすすめします。
点検の際のとくに大事なポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。
なお詳しくは取扱説明書をご覧ください。



① オイルはきちんと入っていますか。

とくにエンジンオイルの量が少なすぎたり汚れていたりすると大きなトラブルの原因となります。エンジンをかける前にまずエンジンオイルの確認をしてください。

② バッテリーがあがっていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、セルモーターが回らなかったり、力が弱くてエンジンがかかりにくいときは、バッテリーがあがっていることが考えられます。その場合は液量が不足していないか確認したうえで、充電器で充電をしてください。

③ エンジンがかからなかったり、かかっても音が波打ったりしませんか。

始動のスイッチを入れてみて、バッテリーは充分あるのにエンジンがかからなかったり、かかってもすぐ止まったりエンジン音が波打ったりする場合、キャブレターが詰まっていることも考えられます。こうした現象は、シーズン後の格納時にキャブレター内のガソリンを抜いておくことと、古い燃料を使わないようにすることで防ぐことができますが、詰まってしまったキャブレターは修理が必要となります。

耕うん機の格納前に手入れのおすすめ ～簡単なお手入れ方法～

除雪機とは反対に耕うん機は、秋作業も終わったこれから来春までは使わない時期になります。この間の保管をきちんとしておくことで春の耕うん時にトラブルなく快適にお使いいただけ、また機械の寿命も延ばすことができます。
簡単なお手入れのポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。
なお詳しくは取扱説明書をご覧ください。



① 燃料を抜いてください。

エンジンのキャブレターの中に古い燃料が入ったまま放置されていると、それが劣化してエンジンがかかりにくくなったり細い管に詰まって故障の原因になります。それを防ぐために格納前にキャブレターと燃料タンクの燃料を抜いておくことをおすすめします。

② 駆動部分に潤滑油を注油しておいてください。

回転したり前後・上下に動いたりするところの接続部分で注油できる場所には潤滑油を注油しておくこと、いざという時に錆びついて動かないなどのトラブルを防ぐことができます。

③ できるだけ屋内で保管してください。

やむをえず野外で保管される場合は、ブロックなどを敷いて地面から少し上げて置き、雨がかからないようしっかりシートで覆っておくことをおすすめします。

当社では、除雪機・耕うん機の時期前・時期後の点検をお得な料金で承っておりますので、ぜひご利用ください。

(除雪機 9,800円～、耕うん機 5,500円～ 詳しくはお問合せ下さい。)

※ なおシーズン中は点検セットではなく通常の料金設定となります。



山野草の育て方 1. 珍しいマユミのことなど

ニシキギ科ツリバナマユミについて少し書いてみました。まず弓の材料として使用されることはご存じのことと思います。又、モミジ、スズランの木と共に世界3大紅葉樹に数えられています。今回皆さんにご説明するのは、妙高にある、常緑樹で紫ツリバナマユミの変種と思われるものです。それは葉が大きく丸葉で椿の花に良く似ていて、実も少し大きく落葉いたしません。私は妙高常盤ツリバナマユミと名前を付けて楽しんでます。又、写真を見るとお分かりと思いますが、実が白に近いものがありました。大変珍しいと思います。



栽培は半日陰で西日が当たらない方が良く、土はあまり選びません。地植えでも良いし、鉢植えでもいいです。肥料は春と秋に与えて下さい。水は乾いたらたっぷり与えて下さい。増やし方については、株分け、実生、挿し木、接ぎ木、根臥せで簡単に増やせます。

マユミと言えば紅葉して落葉するのが一般的ですが、青軸で常緑の種類も有ることがお分かりだと思います。植物には植物の種類分だけ変化したものが有ります。ご自分の栽培している植物をよく観察してみてください。例えば、斑入り、花の咲き方、花色変化、葉の変化、軸の大小などいろいろ有ります。変化物を見つけたときの感動は大変なものです。(荒川豊)

珍しい斑入りのものなど、常時 数万鉢の山野草を取り揃えています。ぜひおでかけください。
さんやそう荒川 〒949-2316 上越市中郷区江口 993-7 TEL&FAX 0255-74-2322

お客様訪問

上越市 (有)森山技建さん

こちらは型枠工事の会社で、建物のコンクリート部分の建築をされています。大型建築がメインで、上越警察署や上越高校等の学校、マンションなど、多くの建物を手がけられています。

森山さんは 22 年前にそれまでの会社勤めを辞めて、この会社をご夫婦で立ち上げられました。敷地は広い山林の一角で、春は鶯

の声や新緑の景色が楽しめる素晴らしい環境です。季節には奥さんが裏山で採った山菜を料理して 18 名の社員さんたちに振る舞われるとお聞きし、いい会社だなあと感じました。

お二人の御趣味を伺ったところ、22 年間無我夢中で突っ走ってきたので特にな、仕事が趣味かなと笑っておられました。奥さんはこの辺のどこにどんな山菜があるか熟知されているそ



うです。御主人は時々ゴルフをされておられるので、むしろこれからが楽しみというご様子でした。

当社は、ここでお仕事を始められたころからずっと御最真にさせていただいて、広い敷地の除雪に 3 台の除雪機が活躍しています。冬のシーズンに向かい、またよろしくお願ひ致します。



コマクサ 思い出の花と人と

細かく切れ込んだ白緑の葉と紅色の可憐な花の組み合わせが本当に美しく、高山植物の女王として万人の認めるコマクサ。本州では中部から北の 2,000m を超える高地の岩礫地にのみ稀に生育し、実際に山で出会ったことのある人となると、その数はかなり少なくなると思います。

私は幸運にも人生の早い時期にこの花に会うことが出来ました。小学校高学年になった私は夏休み祖父母と一緒に群馬県の万座温泉に「湯治」に行きました。ところで私の祖父 東吉は、商売から戻ると、お土産にクツワムシとか、ヤママユのまゆ、どんぐり、アケビの実といった変わったものを持って来てくれる物好きな人でした。考えればこの祖父こそ私達兄弟を自然に対する関心へと導いてくれた先達だったのですが。

昔の万座温泉は木造旅館が数件あるだけのひなびた湯治場で、草津白根山への長野県側の登山口でもありました。偶然自分たちが泊まった旅館の帳場にあった「白根山産コマクサ」の押し葉標本を見て、私はすぐに物好きじいちゃんと一緒に白根山登山を決行。期待して登った山頂でしたが、一面の赤茶けた山肌、たちこめる硫黄の匂いなどでとても植物の生える環境ではありません。目的を果たせず下山し「コマクサは本白根山という別の場所にある」という有力情報を得て後日を期しました。その翌年の夏休み、今度こそという思いでまた万座へ。目指す場所は山頂手前から横道へ入るのですが、方向を示す標識こそあるものの道らしい道はなく、一面のチシマザサの中を進んでようやく白根山の旧火口「本白根山」に着きました。そこは明らかに荒々しい白根山とは違う小さめの礫で覆われ、その中に小さな緑色の植物が見えます。勇んで探し回りましたが、無いのです、一本も。結局この年もコマクサには会えませんでした。

いよいよ三年目。今度は時期を早め、夏休みに入ってすぐまた同じ場所へ。またダメだったらと不安な気持ちで斜面を下ってゆくとその時、スグ足元にあの美しい花が……。図鑑で見るよりずっと色の濃い紅色で、霧の中で印象が際立つ例えようもないその姿、幾株ともしれないコマクサの群れ。興奮の極に達した私は、思わず大声で「あった！、あったよ！」と叫びながら周りを飛び回っていたようで、後で祖父が「まるで気違いのようだった。」と笑いながら嬉しそうに話してくれました。今思えばこの時こそが以来60年続く「植物依存症」の始まりでした。(ハ)



編集後記

今回より紙面構成を少し変えました。「上越の面白い生き物コーナー」は前回で終了しましたが、イラストも含め毎回楽しみにしていたと言って下さる方もおられましたので、しばらくの間 上越や日本という縛りなしで好きな生き物のことを書かせて頂くことにしました。また、関係者のご協力を頂き、緑、食、健康をテーマにしたお役にたつ情報のコーナーを新たに設け、スタートは「さんやそう荒川」の荒川豊さんをお願いしました。しばらく連載していただきますのでどうかご期待願います。



株式会社 マルトミ

上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ www.maru-takada.com 「上越 マルトミ」で

県認定農業機械整備工場(大) ・ ヤンマー農業機械整備士工場 ・ ホンダ ベスト特約店